

第3回 議員全員協議会

6月12日

地方創生の総合戦略

平成26年11月の臨時国会で、人口減少対策の基本理念を定めた「まち・ひと・しごと創生法」など地方創生関連2法が成立した。

これにより、「人口減少の歯止め」「東京圏の人口集中の是正」「地域の住みよい環境の確保」などを目的とし、国が基本的な指針を示す「総合戦略」を閣議決定し、都道府県と市町村は、27年度中に「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定に努めるとされている。

6月12日に市長から議員全員協議会で「沼沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案について説明がなされた。

平成27年を視野に入れた人口ビジョンでは、持続可能で自立したまちであり続けるための「人口」を維持することを基本的な考え

としている。

岩沼市の人口動向について、「人口」「出生・死亡数」「転入・転出数」などの推移が示された。

人口は、平成27年4月末に4万4144人であるが、平成20年以降出生数が減少傾向であり、平成52年での推計では4万人前後となることが示された。

総合戦略では「安定した雇用を創出し維持する」「新しいひとの流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「共創のまちをつくる」とともに、地域と地域を連携する」が基本目標として挙げられた。

人口減少社会どうする

質疑①「若者たちが元気に働ける雇用の戦略はどうなのか。実際に市内にある中小企業、農家、農協にどのようなメリットがあるのか」

か。地方創生は人口減少社会への危機感がおおられていないのではないかと

沼に引き続きやすい政策を煮詰めていきます。国は広域的に取り組むものには優先的に支援をしますので、2市2町の広域連携の中で「観光」も考えています」

質疑②「国力を維持するために、外国人研修生も含めた移民の受け入れが必要ではないか」

答弁②「まず自分たちでできることで政策をつくり、それでも駄目であれば次のことを考えていくのだと思います」

質疑③「コミュニティの在り方と共創のまちについて、どのように進めていくのか」

答弁③「子育て、高齢者、子どもの見守り、地域の安全を地域とともにやっていくために、若い方々、団体とミーティングを進めていきたいと考えます」

質疑④「総合戦略の中にコンパクトシティーの概念を岩沼としてどのように捉え、地方創生にどう生かしていくのか。地域の均衡ある発展はどの部分なのか」

答弁④「コンパクトシティーについては、玉浦西の集団移転地はその一例とされています。生活圏にインフラをしっかりと整備し、市全体がまとまって発展につながるイメージです。西部、中央部、東部とそれぞれの地域の特性に合った施策を提案し、市内外の地域や団体との幅広い連携もイメージしていきたいと思っています」



答弁⑤「10月を目途に策定を考えており、パブリックコメントは実施する予定です」

質疑⑥「持続可能な人口の考え方を伺う」

答弁⑥「人口が4万人となつて20年が経過しましたが、一定の目安ではないかと考えます」

質疑⑦「委員会の立ち上げは考えているのか」

答弁⑦「タウンミーティングを考えています」

編集後記

暑い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。まだまだ残暑も厳しい折、水分の補給など、体調管理にはくれぐれもお気を付けてください。今号の編集では、記事の差し替えやテーマの変更などが多く、委員は締め切りに間に合わせるために、お互いに協力して早く丁寧の記事を作り上げました。紙面が限られているため、議会での出来事全てを掲載することは難しいですが、皆さまに分かりやすく、幅広い情報をお伝えできるよう、今後も努力していきたいと思っております。

議会報編集特別委員会

- 委員長 渡辺ふさ子
- 副委員長 布田 恵美
- 委員 大友 克寿
- 大友 健
- 長田 忠広
- 佐藤 一郎
- 佐藤 淳一
- 森 繁男